



# ふじあざみ

## 空から大沢崩れを調査

11月17日、中部地方整備局災害対策用ヘリコプター（まんなか号）を使用し、地元の市長（午前：小長井富士市長、午後：須藤富士宮市長）と共に、富士山周辺の溪流調査を実施しました。両市長からは、上空から溪流状況や砂防施設が確認でき、富士山南西麓における砂防事業の必要性についてよくわかったとコメントを頂きました。



## 富士山火山三県合同防災訓練2014

### 静岡県庁での噴火対策合同会議



10月19日、富士山噴火に備えた防災訓練を3県（静岡、山梨、神奈川）、関係市町村、国、防災機関が、県境を越えて広域にわたる火山災害に対する防災力の向上や関係機関との連携強化を図るため、56機関、約3,900人の参加で実施しました。訓練は3県の県知事と内閣府との間でテレビ会議を行った後、静岡県庁において富士山噴火対策合同会議を実施しました。また、3県の富士山周辺市町村では住民の避難訓練を行い、御殿場市畑岡会場では中部地方整備局が独自の訓練を行いました。独自訓練は富士砂防事務所、沼津河川国道事務所が、ヘリ調査、道路啓開、堆積工、導流堤の実働訓練を実施し、西村内閣府副大臣、川勝静岡県知事、若林御殿場市長、学識者や避難訓練参加の地域のみなさんに披露しました。



災対ヘリ（まんなか号）による調査



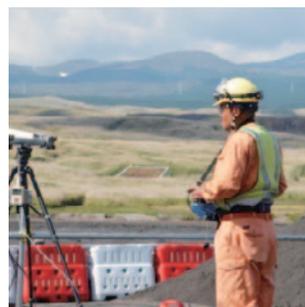
道路啓開での放置車両撤去



道路啓開での降灰に見立てた土砂撤去



遠隔操作バックホウによる堆積工訓練（左にバックホウ、右に操作者）※

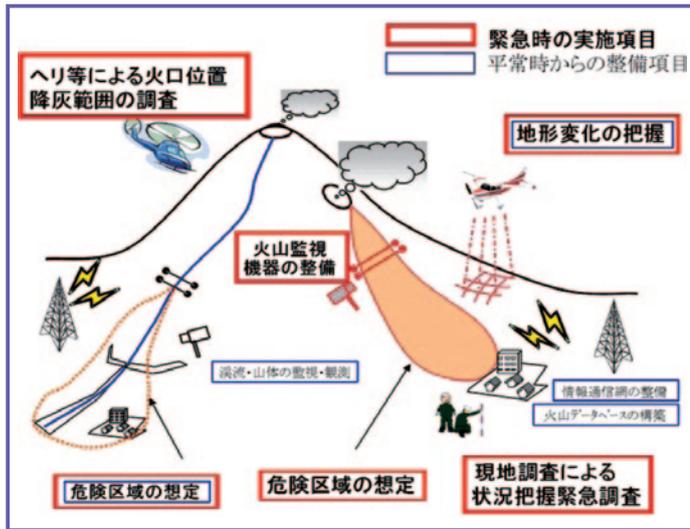


※：本対策工の目的等については右ページをご参照下さい。



ブロックを使った導流堤訓練※

## 富士山噴火時の緊急対策

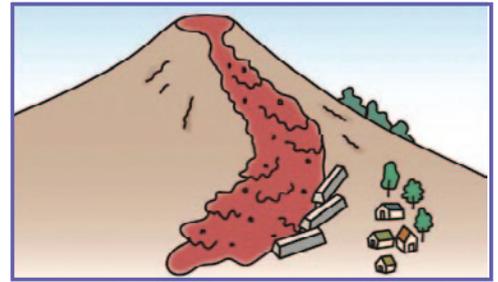


緊急ソフト対策

緊急ハード対策  
堆積工



緊急ハード対策  
導流堤



富士山噴火時における緊急対策として緊急ソフト対策、緊急ハード対策があります。

緊急ソフト対策は、ヘリ等による火口位置、降灰範囲の調査、カメラなどの火山監視機器の緊急整備、リアルタイムハザードマップによる危険区域の想定や、土砂災害防止法に基づく緊急調査として降灰量調査などの現地調査による状況把握等が想定されます。リアルタイムハザードマップとは、火口の位置や噴火に伴う地形変化など、刻々と変化する火山現象に対応した溶岩流などの流下シミュレーションを行う事ができるシステムです。起こりうる現象により近い予測結果を、迅速に示すことができることから、的確な防災・減災対策に役立てることが可能となります。

また、緊急ハード対策としては、堆積工や導流堤等があります。

堆積工は、溪流沿いの土地を掘削したり、既設砂防えん堤の除石を行うことにより、溶岩流や降灰後の土石流を堆積させ下流への被害を軽減させるために行います。

導流堤は、コンクリートブロックなどを積み上げることにより、溶岩流や降灰後の土石流の氾濫を防ぎ、下流へ安全に流下させる働きをします。三宅島や、霧島新燃岳噴火の際にも実際に導流堤が整備されました。

富士砂防事務所では、緊急ハード対策に用いるコンクリートブロックなどを備蓄し、いざという時に備えています。

## 由比地すべり対策事業地元関係者見学会

11月13日、山中排水トンネル工事の着工に合わせて地元関係者47名を招いて工事現場見学会を開催しました。事務所長が事業の説明をし、今後の事業へのご理解とご協力をお願いしました。見学会は山中・大久保排水トンネルにおいて、由比出張所長等が工事の内容について説明しました。



工事の説明をする由比出張所長と熱心に説明を聞く地元関係者のみなさん

事業の説明をする事務所長（中央）

## 11月6日 火山砂防フォーラム(富士吉田)

火山砂防フォーラムは、平成3(1991)年より全国各地にある活火山地域の自治体や関係機関により、火山と地域の安全について理解を深め、相互に情報交換することを目的に毎年開催されています。今年のフォーラムは24回目となり「火山を知り、火山と共に生きる。～世界文化遺産 富士山と火山防災対策～」をテーマに富士吉田市主催で開催され、富士砂防事務所も事務局の一員として参加しました。フォーラムでは、富士吉田市の小学生、中学生による「世界文化遺産 富士山と私たち」の研究発表、国土交通省砂防部長による御嶽山噴火に関する緊急報告、コーディネーターの藤井富士山科学研究所長と5名のパネリストによる「世界遺産 富士山と火山防災対策」をテーマにパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションには事務所長が参加し富士山の火山防災について討論を交わしました。



パネルディスカッション (左から2人目が事務所長)



吉田小学校研究発表

## 11月12日 フーちゃん公園で芋掘り

潤井川流路工周辺に整備したフーちゃん公園で、富士宮市立上井出保育園年中・年長クラスの園児により、6月に植え付けを行ったサツマイモの収穫を行いました。園児たちが収穫の喜びや自然の大切さ知るとともに、川や公園に親しむ楽しさを体験して頂きました。



## 10月30日 大沢扇状地見学(JICA研修生)



海外11カ国15名の技術者・研究者が、国際協力機構(JICA)主催の「土砂災害防止マネージメント研修(豪雨、地震、火山噴火起因)」の一環として、富士砂防事務所が実施している富士山麓の砂防事業を視察しました。

## 10月4日 富士川かりがね祭りでブース出展



かりがね祭りは、水害からこの地域を守る雁堤を築堤した古郡氏三代の偉業を後世に残すため、没後300年の記念事業として、昭和62(1987)年より開催されている富士市・甲府河川国道事務所が後援のイベントです。そこに富士砂防事務所も展示ブースを構え、土石流模型や溶岩流模型を使った実験や、パネルを使った説明を行いました。

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

### 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100  
TEL 0544-27-5387

担当/建設専門官 落合 または 調査課長 大森まで  
インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>  
E-mail [fujisabo@cbr.mlit.go.jp](mailto:fujisabo@cbr.mlit.go.jp)

■富士宮砂防出張所  
〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9  
TEL 0544-54-0236

■由比出張所  
〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8  
TEL 054-389-1202

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本としています。今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。